

一般質問



宮本 議員

○松浦市再生可能エネルギー推進事業について

質 市が推進している「松浦市再生可能エネルギー導入推進計画」について、地元の理解が得られない場合、市長はどういう決意をもってやられるのですか。

市長 再生可能エネルギー導入推進事業計画に定める風力発電事業については、松浦市の場合、地域共存型風力発電事業という位置付けで計画段階から進めてきています。この計画を作る委員会の中で、風力発電に対して、発電機から800メートルを超えると、いろいろな苦情が少なくなるという知見を示していたいたので、風力発電施設から800メートル範囲内に民家があるようなところは適地から外すというような検討を行い、ゾーニングを行っています。事業の候補地関係者には、そのことを十分説明し、ご理解をいただく取り組みを行わなければならないと考えています。そういったことをしっかりとやっていくことが必要であり、その上

で、どうしてもご理解いただけないようであれば、この計画の趣旨に沿って考えれば、共存型が実現できないと思うところです。

○法知岳の風力発電事業について

質 市長は、池成地区自治会が法知岳に立地を要請している風力発電については実行すべきと考えているのか、地元の理解が得られなければ実行しないというのか、どのような考え方かお尋ねします。

市長 民間事業者が法知岳で計画している風力発電の件については、松浦市が民間事業者の事業そのものに可否を判断する立場にはありません。ただ、松浦市の土地を貸してほしいとの申し入れがあっており、民間事業者が法知岳で計画している風力発電事業について、地域や関係者の理解が得られれば、その土地は貸すことができると考えています。

このほかに、「ふるさと納税推進の重要性と寄付額増大対策について」「鷹島海底遺跡関連事業費について」「第二水産加工団地の完成と調川町の「町づくり」について」「伊万里湾の赤潮問題について」質問しています。

一般質問



立 議員

○市内商店街の購買力意識向上啓発対策について

質 市内商店街での購買力向上を図るには、消費者の私たちが市内にあるものはできる限り市内で買う。安いからといって市外の量販店で買っても税金は松浦市には入らない。小規模自治体の松浦市であるがゆえに市内商店街での売り上げの一部が税金となり多くの市民に還元されていない。わが町の商店、居酒屋は自分たちで支えよう。シャッター通りにはしない意識付けを私たちが強く持つことが大事と思う。市も経営者と共通認識を深め活気ある町を願うが、市の対応は。

地域経済活性化課長 市内商店街の維持、存続のためには、松浦で買えるものは松浦で買ってもらおうような意識啓発活動は重要であると考えています。また、市民の皆さまが松浦で買い物をしたいと思ってもらえるような魅力ある商店街づくりもこれまでどおり取り組んでいく必要があると考えています。市としても、市内商店街の維持、存続、そして活性化を図るためにも魅力ある商店街づくりの施策や支援と併せ、自分たちの商店街は自分たちで守るという意識付けの観点も取り込みながら取り組

んでいきます。

○未来永劫までも最良の住環境が持続出来る対策について

質 住環境は生きていく上において最も重要である。未来永劫最良の住環境で持続的に続いていくべき地域が今、風力発電建設で最悪の環境に押し退け、谷底に突き落とされそうになっている。建設地真下には保育所、小学校や民家が点在し、7団体はもちろん多方面から多くの絶対反対の声が寄せられている。建設推進者に聞きたい。人様の近くには建設してよいが、俺の近くには駄目とは言わないですよ。水俣病のような悲惨な公害病を発症させてはならない。穏やかな山里を構築する。市の判断を伺う。

○地域経済活性化課長 企業を誘致する

際には、雇用の問題や事業の継続性などの側面だけではなく、総合的に判断することが必要であると考えています。さまざまな事業が営まれる際にも、その地域に住む方々の住環境に配慮していただく必要があり、そのためには地域と情報共有し、理解を深めながら進めていただくことが大事だと考えています。

市長 法知岳で進められている計画については、地域との信頼関係を構築していただくように事業を推進している事業者にお願いをしたいと考えています。丁寧に説明をして、話し合いながら、ご理解いただけるように努めていかなければならないと考えています。